

# 私の工夫

## 授業改善のための3つの工夫 「焦点化」「ICT機器」「見える化」

津山市立中道中学校  
指導教諭 近藤 圭亮



### 1 はじめに

新学習指導要領では、全ての教科等の目標および内容が「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で再整理され、各教科で改訂の要点が挙げられた。本校では昨年度から「わかる授業」「生徒と共に学ぶ授業」「生徒をつなぐ授業」をテーマに授業研究を進めてきた。そこで私は、今までの授業実践を振り返り、実践できていた部分とそうでない部分を見直すことで新たな授業実践につなげてみたいと考え、次のような工夫をして、研究発表と授業実践に取り組んでみた。ここでは、私の授業実践でのポイントを中心に取組を紹介したい。

### 2 授業実践のポイント

#### (1) 「わかる授業」の精度をあげるための焦点化した授業

「社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動」を通して、「公民としての資質・能力の基礎」の育成を目指すのではあるが、社会的事象の「基礎・基本」となる知識を身に付けた上でこそ「社会的な見方・考え方を働かせ」ることができるのは明白である。故に「基礎・基本」を身に付けさせるための授業内容は、できるだけ内容が精選し焦点化したものにする必要があるのではないかと考えた(図1)。

なお、その結果生まれた時間は生徒の話し合い活動の時間などに

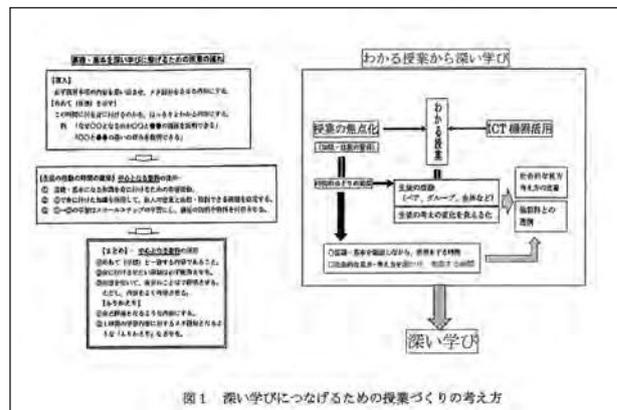


図1

あてた。

#### (2) 限られた環境の中でのICT機器の活用

焦点化した内容を理解させるためには、「資料提示」や「まとめ」の際に視覚的な支援をすることが不可欠で、その結果「多面的・多角的に考察、構想し、表現する学習」にもつなげることができると期待している。生徒各自にタブレットPCをもたせる環境で学習させていくことが理想ではあるが、本校の環境では、タブレット端末からデジタル教科書を読み込ませ、黒板に



デジタル教科書を使った授業の様子

投影して使用するという限られた使用方法を余儀なくされている。教材提示による視覚的な支援を中心に、生徒の考察や教師の解説のためのツールとしての使用が中心となる。「効果的に使う」ための指針を上げてみると次の2点にまとめられる。

#### ① 「授業の助っ人」としてのデジタル教科書

「ここは使える」「資料を示し、教科書の資料を深める」「使わないうほうが混乱しない」などという見極めをしっかりと使用(写真)。

②使いこなすための基本

「ただ見せるだけ」↓見せたいところを大きく「動かす、かくす、書く」↓どんな見せ方をするか、を授業の内容によりひと工夫する。

「聞かせる」↓課題解決のヒントとなる資料などについては、文字を提示するだけでなく、音声を読んで聞かせる。

「つくる」↓デジタル教科書の教材を素材にして、ワークシートなどをつくる(資料1)。

デジタル教科書の活用も、ユニバーサルデザインの考え方に基

いて、「視覚的な支援」と「マルチタスクにならない」点に注意しながら活用していく。

(参考文献・村田辰明『社会科授業のユニバーサルデザイン』)

(3) 生徒の考えの「見える化」を大切に

「多面的・多角的に考察、構想し、表現する学習」においては、結論よりも、生徒の最初の考え(仮説や予測)が結論に至るま

3 今後の課題

本校の今年度の授業研究では、「対話的な学び」の視点を実践すべく、授業の中で生徒同士が「話

3 今後の課題

どのように変化したかの過程が記録されていくことが、生徒にとっても評価者にとっても大切なことである。それをどのようにさせていくか、をワークシートの工夫などによって記録できるようにしている(資料2)。

「し合い」や「意見交換」をする場面を必ず設定しよう、ということ。私は10年以上前から教科の力を身に付けさせることに執着せず、教科で身に付けた力を他の学習に転用してこそ生きる力へと高まると考えている。知識として各教科をそれぞれに学ぶことが大切であることは間違いないが、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の柱で再考するとき、各教科で培った力を活かす場面も大いに作るべきではないだろうか。わかる授業を根底に置きつつ、

奉公…都の恭々備や命をかけて戦うこと  
御恩…土地をもらい厚貢を保証してもらうこと。守護や地頭に任

社会科歴史ワークシート 1年3組 番氏名( ) 43 教科書 P.64-65

鎌倉幕府のしくみ

【めあて】 鎌倉幕府(将軍)と御家人の結びつきを説明できる。

1 ①源平合戦の結果を確認しよう!

1180年	伊豆の(①)源頼朝(将軍)や木曾の買収などが、平氏をたおそうと兵をあげる。
1185年	(②)壇ノ浦の戦いで、平氏はほろびる。頼朝にやまると、(③)が国ごとに(④)守衛、近衛や公卿に(⑤)地頭( )をおくことを認めさせる。
1192年	武士の最大将として、(⑥)が征夷大将軍に任じられる。
1219年	12世紀末に武士の政権の(⑦)が(鎌倉)幕府が定まれる。
1221年	3代征夷大将軍が定まれ、(鎌倉)幕府が定まれる。源氏をたおそうとした(⑧)義経( )の乱が起る。



②源平合戦に源頼朝に尽くした武士は? ●資料 源頼朝の下文から考える。

幕府に忠誠を誓った武士

(御家人)という

※将軍は主人であり、御家人は従者であるからこの関係は主従関係という



\*将軍(源頼朝)のために命も惜しまず戦う忠誠を( )に誓う。  
\*平家一門が所領していた地域の( )に任命してもらう。  
平貢をとることを認められたことが( )。

資料1

2年組 番氏名( ) 教科書 P. P.220-221  
4章 中部地方 2 東海の工業の特色と発展理由  
【目標】なぜ東海地域では、工業が発達したのか、を様々な条件をあげて説明できる。

推測 東海地域(中京工業地帯・東海工業地域)は、  
から、工業が発達したと思います。

資料をみて推測を裏付けるための証拠をみつけよう!

○資料2から発達条件をあげてみよう!

- 1 高速道路や空港が多い。
- 2 輸出入自動車が多く、輸入は石油が多い。
- 3 大きな港がある。

●資料3から条件を裏付ける証拠を見つけ出そう!

- A 機械の産業が増えている。
- B 織機が2014年にはその倍に入っている。
- C 昔から使われているものが進化している。

資料2の条件と関連する資料3を線で結び、結んだ理由を下に記入しよう。  
※東海地域に工業が発達したいちばんの理由に○、2番目の理由に○

- (3)と(A) 理由:大きな港があるから 機械の産業が増えている
- (1)と(C) 理由:輸出入の進化しているから 高速道路が多い
- (2)と(B) 理由:自動車や石油が多いから 織機が増えている

結論 ホワイトボードと同じ内容!!

東海地域に工業が発達した理由は、  
からです。  
なぜならば、資料にがあるからです。

まとめ 他のグループの考えを1つ以上メモしましょう。  
輸出入の進化、織機が増える、大きな港がある、  
よりかえり なぜ東海地域に工業が発達したのか?  
輸出入の進化、織機が増える、大きな港がある、  
輸出入の進化、織機が増える、大きな港がある、

資料2

た力を活かす場面も大いに作るべきではないだろうか。わかる授業を根底に置きつつ、今後は発展的な学習を行う際、積極的に教科横断的な内容を、国語、英語、家庭科と合科的・横断的な授業へと繋げ、生徒の学力を向上させていきたい。